Kobe University Repository : Kernel

PDF issue: 2024-12-19

海事博物館研究年報2019(第46号）の語句訂正

(Citation)
海事博物館研究年報,47:41-41

(Issue Date)
2020-03-31

(Resource Type)
other

(Version)
Version of Record

(URL)
https://hdl.handle.net/20.500.14094/81012191

おわりに

海事、文書史料室、附属図書館の三者による巡回展は定着し、毎年順調に開催できている。担当者の人数が少なく運営困難な点があるものの、図書館の図書テーマ展示と連携したサテライト展示紹介も継続し、さまざまな機会を設けて海事博物館の資料と博物館活動の啓発を進めていきたい。本年度も巡回展の実現にご協力頂いた関係各位に心から御礼申し上げる。

協力：海の学びミュージアム・サポート
みなとの博物館ネットワーク・フォーラム
一般社団法人海洋会
神戸大学附属図書館大学文書史料室
社会科学系図書館
山口誓子記念館、誓子・波津女俳句俳諧文庫
人文学研究科地理学教室
井上　舞、堀田昌宏、石田　曜、野邑理栄子
米田恵子、舩阪富美子、田中史恵
展示作成・準備（博物館ボランティア）
：井口琢人、田邉里菜
（以上順不同、敬称略）

注

1　『海事博物館研究年報』№46参照
2　例えば松木哲1982「船路細見記の系譜」『海事資料館年報』10、樋口元巳2005「海路の賑わい　当館所蔵の航路図付航路記（その１）」『海事博物館研究年報』33、など。
3　絶対数を確認してはいないが、関東や東北の博物館では東廻り航路を描いた絵図がしばしば認められる。ただ北前船で栄えた北陸周辺を描いた例は少なく、当館所蔵の「北海大廻之略図」は貴重な例と言える。
4　展示資料の目録は企画展図録『和船の活躍した時代』2020年２月刊行、に掲載したので参照されたい。
5　逆に附属図書館の「阪神・淡路大震災25年　あのときとこれから」を2020年３月から４月まで、海事博物館にて巡回展示すべく準備したが、海事博物館が４月まで臨時休館しているため、みなさまに見て頂く目処は立っていない。

海事博物館研究年報№46（平成30年度）の語句訂正

前回発行の海事博物館研究年報第46号（平成30年度）の訂正について以下の通りお知らせします。

1）６頁 右段 下から２行目
　　同　　下から４行目
　９頁　　左下写真キャプション
　　（誤）岩尻　　**（正）溝尻**

2）５頁 右段 下から20行目と25行目
　７頁 左中ほどの写真キャプション
　　（誤）銭谷　　**（正）銭屋**